

## 【平成24年度下期顕彰先一覧】

年次	助成先名	業種	助成事由
平成24年度下期 9月	昭和測器(株) <特別賞>	電気計測器の製造販売	輸送機器や工作機械などに使われる振動計技術を応用して、エレベーター用安全対策振動分析装置を開発。事故を未然に防ぐための保守点検用に使われるとともに、新設時においても稼働の安全性を入念に検査できる。従来は振動加速度計測による揺れのみでの判定であったが、振動データをPCに取り込むことによって、エレベーターの高精度な状況判断を可能にした。
	旭精工(株) <特別賞>	自動販売機 部品等の製造	平成24年のロンドンオリンピック開催に先立ち、偽造硬貨流入に危惧したロンドン市から、ドイツ企業を通して当社に硬貨の選別技術についての相談があった。コインセレクタ（硬貨選別装置）の分野で高度な技術を持つ当社が短期間で技術的対応策を提案して、偽造選別技術を開発し、問題が解決できた。
	(株)翠光トップライン	園芸・建築	結露防止溶剤をアクリル樹脂化することにより、フィルム加工に成功。透明で紫外線カット、結露防止を可能にした。また施工が必要なフィルム販売から、今回溶剤をスプレー化することにより、安価で一般にも販売が可能になった。夏場は節電効果が大きかった。
	(株)黒 姫	産業廃棄物 資材販売 運搬・処理業	建築物解体関係の業界では、解体や運搬がそれぞれの企業に分業されていた。当社は創業時から運搬に特化してきたが、解体現場での騒音・空気汚染等の問題や顧客ニーズの多様化もあり、自社の資源循環センターを設け、収集運搬→中間処理→処分→有価物（再生砕石）販売までを当社だけで対応できるシステムを構築した。
	(株)レキシシー	情報処理、ソフトウェア開発・販売	従来培ってきた画像処理、数学、物理知識とコンピュータ・グラフィック技術を生かし、大学医学部との共同研究開発を通じて、膝および股関節の人工関節置換手術に有効な3次元手術計画ソフトウェア（3D術前計画ソフトウェア）を製品化、120施設に導入。またソフトウェアと連携する手術器械を人工関節メーカーと共同開発した。
	(株)オプナス	鍵製造	住宅玄関用ドアハンドル「バレットラインS」を開発。ドアハンドルは従来グリップ型・右利き想定が一般的であるが、本製品はプレートの上下左右すべての辺から引ける仕様を実現。4方向からドアを引けることで背の低い子供、力のない年配の方、大きな荷物を抱えていても簡単に操作が可能。またスクエアタイプでデザイン性が高く、一体化した高級感あるシルエットを演出できる。
	進栄化成(株)	プラスチック 成型材料製造業	ペットボトルキャップを原材料に再生ペレットの製造・販売を行っている。キャップにはPE系とPP系が混在しており、その分別は困難とされていた。そこで自社ノウハウをベースに、近赤外線を用いて樹脂を選別する光学式選別機を開発。ペットボトルキャップのリサイクルリング向上を図った。
	ホッティーポリマー(株)	工業用ゴム製品	透明性・耐熱性に優れた押出しチューブ、一般ナイロンに他機能を付与したエンブラチューブを開発した。平成23年より開発を始め、自社工場で製造している。透明性・耐熱性が高く、電気絶縁性に優れており、ガス透過性が高く、今までにない樹脂として付加価値製品に結びつけることもできる。
(株)東洋設計	産業機械 製造業 設計販売	従来の押出成型機ではスクリーンに目詰まりが生じると、運転を停止して交換が必要だった。今般「押出成型機のスクリーン交換装置」（特許）を開発、スライド方式に改良したことにより、ゴミ詰まりによる破損の防止、網交換が短時間で可能になり稼働率が上がった。また停止中に加熱筒に残存する樹脂材料の変質など、欠点の克服につながった。	